令和８年度　第１回　中野市子ども・子育て会議　議事録

日時	令和８年９月 30 日（水）　16：00～17：15
会場	中野市役所　会議室 42・43
出席者 （委員）	藤原仁美、伊藤麻菜美、中山江利香、町田理恵、大西清美、伊藤勇、 玉井史恵、古川三智子、角間史康、山﨑巌、市村綾子、遠藤充、 半田正樹、丸山浩子、清水智之（代理：中澤）、合津悠翔、 氷見綾香、仲條道子、清水良子、青木香菜恵（計 20 名）
（市：事務局）	鈴木子ども部長、中山子育て課長、涌田子ども支援係長兼青少年未来係長、土屋施設係長、小林保育係長、髙橋子ども相談係長、 戸島学校教育係長、児玉母子保健係長。子育て課職員２名（計 10 名）
資料	次第 資料１　：令和７年度「第３期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況　及び 令和８年度「第３期中野市子ども・子育て支援事業計画」の目標設定について 資料２　：中野市の少子化の現状について 資料３　：中野小学校区放課後児童クラブ（仮称）の新設について 資料４　：乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について
１　開会 （子育て課長）	（略）
２　委嘱書交付 （子育て課長）	（略）
３　あいさつ （子ども部長）	（略）
４　中野市子ども・子育て会議 概要及び会長・副会長の互選について （子育て課長）	（子ども・子育て会議の概要について、条例に基づき説明） 会長及び副会長の互選をお願いします。 中野市子ども・子育て会議条例第４条の規定には「会長及び副会長は、委員の互選による」となっており、選出方法について委員の皆様

	からご意見を伺うこととしております。いかがでしょうか。 （委員からの意見はなし） ご意見はないようですので、事務局案を提案します。 会長には、中野市民生児童員の丸山浩子様を、 副会長には､中野マリア幼稚園 園長の玉井史恵様をお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。 ご承認いただけるようでしたら拍手をお願いします。 （委員からの拍手多数） 委員の皆様にご承認いただきましたので、会長に、丸山様、副会長に玉井様をお願いしたいと存じます。 丸山会長様、玉井副会長様、前の議長席へお願いします。
（会長、副会長）	（就任のごあいさつ 略）
（子育て課長）	中野市子ども・子育て会議条例第５条の規定により、会議の議長は会長が務めることになっておりますので、以降の進行を丸山会長にお願いします。
５　議事 （１） 令和７年度｢第３期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について （２）令和８年度｢第３期中野市子ども･子育て支援事業計画｣の目標策定について （会長）	それでは、５の議事に入ります。 はじめに、（１）令和７年度「第３期中野市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況について　と （２）令和８年度「第３期中野市子ども・子育て支援事業計画」の目標策定について　双方関連となるため、一括して事務局から説明をお願いします。
（子ども支援係長）	（資料１に基づき説明）
（会長）	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問等ございましたら、挙手にてお願いします。
（委員）	42 ページ№107 の小・中学校の充実③について、スクールソーシャルワーカー ２名、スクールカウンセラー ４名、教育相談 １名の配置とあるが、目標値はこのままとなっているが、当該年度の様子からこの配置人数で 十分足りているということでしょうか。

（学校教育係長）	現段階では、十分な配置と考えておりますが、また状況に応じて配置の方は見直していきたいと思います。
（委員）	子どもの関係でこういったカウンセラー、ソーシャルワーカーをお願いする状況にありますが、周りの声を聞いても、全然足りておりませんので、今後そういった声があれば検討するということであれば、声を上げていきたいと思います。理想としては、各小中学校に 1 名ずつ専門の方を配置していただきたいと思います。生徒がいつでも相談でき、先生方もいつでも相談ができるよう、児童の心理とか、そういったことに詳しい専門家で頼れる存在の方を常駐いただけるよう計画を立てて実施していただきたいと思っております。
（学校教育係長）	ご要望、ご意見として受け承っておきます。
（委員・会長）	私も思うところがあり、先日「不登校行き渋りについて考えませんか」という教育委員会と子ども相談室での企画があり、そこに出させていただきました。その時に困難感を持ったお子さんの居場所というものが、今すごく大事になっていて、学校に行けなくても居場所がある。そういったお子さんの居場所を作ることが本当に大切なことだし、一人で悩んでいる保護者の方、先生たちも悩んでいらっしゃるのですが、そういった保護者の方、それから支援を行う支援者の方や教職員の横の繋がりがすごく大事だと感じました。 私も現場でやってきたものとして、本当に今不登校とか発達特性が強いお子さんが集団の中に馴染めなくて、とても苦しんでいる実態があります。学校も不登校支援の先生も入れていますが、私の知っている先生は一人で 10 何人も抱えていて、細やかな支援ができないというお話しをされていました。そういった面では、そういった支援をしていただける専門の方、それから実際に子どもと毎日対峙する方、そういった方々の充実が図られることがとても大事な時期かなと思います。
（会長）	他にありますでしょうか。 また後ほど思いつくご意見などありましたらお願いいたします。
（３） その他（報告事項）について （子ども支援係長）	（資料２：「中野市の少子化の現状」に基づき説明） （資料３：「中野小学校区放課後児童クラブ（仮称）の新設について」に基づき説明）

（保育係長）	（資料４：「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について」に基づき説明）
（会長）	ただいま、事務局から説明がありましたが、ご意見ご質問等ございましたら、挙手にてお願いします。
（委員）	資料 2 の中野小学校区放課後児童クラブの新設に関して、第 3 期中野市子ども・子育て支援事業計画の 41 ページに放課後児童クラブの年度ごとの量の見込み及び目標整備量の記載があり、令和 7 年度の量の見込みが 517 人で、先ほども少子化との話でしたが、令和 11 年は 447 人と減っており 70 人減っていますが、目標整備量が 30 人増えているのはどういうことですか ？
（子ども支援係長）	計画に記載の量の見込みについて、令和 7 年から 11 年にかけて減少しているが、目標整備量は 30 人に増えていることについては、基本的に子どもの数は減少しているところでありますが、同時に昨今では、特に女性の就業率の向上とともに、利用率自体は増加している傾向があります。今回の新設について、そういった状況を総合的にシミュレーションしたところ、今の見込みでは、令和 11 年頃に利用者のピークを迎えるのではないかと考えており、今現在も増えている状況があります。計画について、少し紛らわしい内容かもしれませんが、基本的には子どもの数は減っていますが、必要とする数量については、まだ増えていくことを見込んだ上で、30 人を増やし、計画に記載しているという状況であります。
（委員）	分かりませんが減っているのなら減るのだと思います。子どもの数がこれほど減っているのに、これだけ増えるということはないのではないでしょうか。11 年度まで増えることを見込んで新築するということですが、この事業は総額でどのぐらいになる予定でしょうか。
（子ども支援係長）	整備費用についてお尋ねということでよろしいでしょうか。設計費用までは決まっています。すぐに数字が出てこなくすみませんが 設計には 1,000 万円以上がかかります。工事費用につきまして、現在設計の中で積算をしている最中ですので、まだ具体的な費用はお示しできない状況です。
（委員）	分かりました。今も中野小学校の学童の子どもたちが困っていて、オープンまで 3 年かかるのではないか。 3 年後にはもう子どもは減って解消するのではと感じました。その間困っている子どもと次の春休みなどどこに預けたらいいのかと思っている親御さんはこの解決策だと何も解決しないのではないか。例えば近隣の山ノ内町では校内で放

	課後児童クラブを実施し、須賀川では公民館で行っている。中野市でも延徳小学校は校内にあり、他のやり方があるのではないかと思う。バラっ子の 30 人を移動すればいいと資料で読み取ったのですが、バラっ子の子どもたちを別のところ、例えば学校の空き教室を使わせてあげるとか、新築を建てるお金があれば何でもできるのではと感じるが、他にもすぐに出来てみんなが助かる解決策というものは、誰からもどこからも出ていないのでしょうか。
（子ども支援係長）	学校の空き教室を使えないかということについて、子どもの数は減ってきておりますが、別な形で学校では 25 人学級を検討されていることもあり、最初の段階では、学校とも協議をさせていただき教室を使えないでしょうかということは、２年前ぐらいから協議をした経過がございます。学校として学校運営を第一に考えなければならず、いろいろな課題の中で、支援学級を必要とする子どもは増えており、本来は空き教室になるところですが同時に支援学級を増やしていかなければならない。そういった経過の中で、空き教室が生まれてこない現状があります。新たな 30 人を吸収できる方法として様々検討し最終的には新設の放課後児童クラブの計画となりましたが、その間バラッ子につきましては､特に長期休み中に子どもが増える傾向があるため、去年も実施したが､帯の瀬ハイツを使って､夏の期間はそこで 放課後児童クラブを行い今年も実施しました。ここは広い空間があり、いろいろと体を使ったレクリエーションができ好評でありましたが、利用にあたり駐車場の問題や距離が遠いことなどの問題がありました。現在の中野地区の児童クラブは歴史的な経緯もあり、中野児童センター放課後児童クラブ、バラっ子、学童保育やまびこは、それぞれ学校から離れており、通うにあたり時間がかかったり、交通量の多いところを横断するなど危険な面があります。これを総合的に解消していくため、より学校から近いところでの検討を進め、最終的に今の学校敷地内で建設する計画となり、合わせて日野小学校の児童も吸収できる形で進めているのが現在の状況とこれまでの背景です。
（委員）	遠いところに今まで子どもたちが通っていて問題があったということ、また教室ではできない、帯の瀬ハイツでもできないというお話ですが、いくらになるかわからない新築工事はできることになったということで、費用はわからないけれど、そこは本気出せばできるのではないか。本気を出せば他の案もあるのではないか。もっと利用者が助かる、もっと早くできて、もっとお金もかからない、もっと助かる方法はもう少し検討できるのではないか。 ３年あると思えば 何千万でも出来るのではと思うので検討していただきたいと思っています。 なぜこのように言うかというと、先ほど、学校にスクールカウンセラーとかソーシャルワーカーをつけてほしいという話をしたが、他に

	も保育園、学校などいろいろな今来てくださってる方の施設にたくさんお世話になりながら、私は子育てをしています。皆さんすごい熱意があって知識もあり、なんとか解決しようとしてくれるのですが、やはり人手がない、人がいない、費用がないのでどうにもならならないとなることがとても多いと感じる。人手を雇う費用はどこが解決してくれるのかと思えば、それは中野市が解決してくれるものであると思います。もう中野市には立派な施設は十分あるなと感じています。いろんなサービスも増えたなと感じています。あとは人や子育てに使う対策費用だと思っており、子どもど真ん中は立派な施設があるとか、便利だとかじゃなく、中野市は子育てに関する人材が厚いとか、人手が多いとか、人件費が一番多いということで、子育てど真ん中になってほしいなと思っているため、そこに建設費に使える分をなんとかみんなで考え、他の人件費などそちらに回していただけないかと思っていますがいかがでしょうか。
（子育て課長）	子どもど真ん中ということで、いろいろな施策をさせていただいています。今フォーカスいただいたことについて、私どもが進めようとしているのは、放課後児童クラブの狭隘化と老朽化をまず何とかしようというもので、いろいろなご意見を頂戴しながら、箱物を作るということを是としているわけではありませんが、何がいいかというところでは、お金は必要かもしれませんが、建物を建て、安全な安心な充実した時間が過ごせる場所を作りたい。まずそこは進めてまいりたいと考えております。これはいろんなご意見がございますが、そういったお声も聞きしながら進めてきたところであります。先ほどのソフト面ですが、人件費とか手厚い運営費というところは、また別として考えさせていただいているところで、今いただいたご意見を踏まえて取り組んでいきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
（委員）	先ほど、この計画に関して反対意見は出なかったというお話でしたが、私は今意見を出しましたので、ぜひこういう意見があるということを持って改めて考えていただきたいと思っていますし、別の話だという話をされましたが、これから何かをお願いした時に、金がなくてと言われたら、学童を建てるじゃないですかと、私は思いますので。ぜひ頑張っていただけたらと、私は中野市の行政の皆さんも味方だと思っております。こういう場を設けてくださり、意見を聞いていただけると期待しておりますので、よろしくお願いします。
（子育て課長）	予算の使い方については、子育て分野、農業分野、様々ございますが、バランスを取れたところで実施していきたいと思っています。 私どもも、子どもについての課でありますので、そこは全力で取り組ませていただきます。今回頂戴した意見が反映というところは検討

	させていただきますので、よろしくお願いいたします。
（会長）	少数の意見が否定されてしまう現場にならないように、今お話ししてくださったように、本当に一つのことを決めていく時も、いろいろな方の意見があって、その方の意見に対しては、誠実なご返答をまたよろしくお願いしたいと思います。
（委員・副会長）	今の保護者の方のご意見はごもっともというところと、中立的な立場として、本当に預けるところがない保護者の方は、困っていらっしゃり、保護者の立場から考えると、そのお金があるのならという想い、では子どもの立場はどうかというと、子どもがそこで長い時間過ごすことを考えた時に、私たちの園でも子どもたちを延長保育、早朝保育で預かっていますが、できるだけ今までいた保育士とは環境を変えて預かるようにしています。ずっと同じ場所に子どもたちがいるということは、子どもたちにもすごくストレスがかかり、現在の中野市で考えている新しい放課後児童クラブで過ごせるということは、子どもたちにとって、一度学校が終わり、気持ちを切り替え、新しい施設で過ごせるということは、子どもたちの目線から考えても、とてもいいことなんじゃないかなと思います。建設費用は少し置いておいてですが、子ども真ん中施策というのは、保護者のためでもあるかもしれないけれど、子どもたちがどうやって過ごすことが一番幸せなんだろうかと考えることが、子ども真ん中なんじゃないかなと思っています。そういう観点から考えると、近くにあるから安全、そして子どもたちが学校から一歩離れて、また違った環境で少し気持ちを変え生活できる面から考えると、この新しい施設が決してマイナス面だけではないかなと思います。どちらも意見も立場が変わると見方も変わるということで、私はすいませんがどちらの気持ちもわかるのですが、そんな見方もできると思い一言言わせていただきました。
（会長）	ありがとうございました。それでは他にご意見要望などありますでしょうか。
（委員）	子ども誰でも通園制度について、我が家はまさに当事者で、成後 11 ヶ月の子どもがいます。この制度があるということは、いろいろなところで周知され、よく存じていますが、子育て支援センターとかで仲良くなったお母さんがみなさんこうおっしゃってます。 「よくわからない」ということで、ちょっとふわっとしすぎているというのが皆さんの意見で、いろんな方とお話し、私もそうですが、保育所に通っていない 6 カ月から 3 歳未満が対象、これは育休とっていてもいけるのですか？ということであったり、あと月 10 時間の範囲で時間単位の利用が可能、これは保育園に連れて行ったらどうな

	るの？ということ、例えばその 1 歳児だったら 1 歳児のクラスに混ぜてもらって、 1 日を過ごすのか、それとも誰でも通園で連れてきた子は別で分けられ何かをしているのか。そういったところが、よくわからないから、申し込めていないというお話は仲良くなったお母さんたちから聞きます。もう少し掘り下げた案内があると、皆さんの申し込むハードルが下がりいいのかなと思います。 あと実施が松川保育園と平岡保育園で、遠いということも聞き、私は金井に住んでいるため平岡保育園がいいなと思いましたが、今農業をしており、一時保育をハブリックで利用し、そこと併用ができるかということがよくわからず、まだ申し込めていません。今年の春からこども家庭庁により全国一斉に始まり、受け入れた自治体はどこもふわっとしていると思いますが、もう少し明確な例とともに、例えば育休とってもいけますよ！などと言ったことがクリアになれば、申し込むお母さんは結構いらっしゃるかと思います。同年代の子どもと関わらせたいと思っているお母さんは結構いらっしゃるので、ニーズはあるかと思う。何かの形でもう少し具体的な中身が知れるといいと思います。
（保育係長）	確かに国で進めてきたということで､各自治体も急な制度の創設で、開始時期も国で決められ、各自体が慌ただしく制度設計しスタートさせたというところは事実であります 今おっしゃられたとおり、制度の周知方法について、もう少し細かく皆さんに周知していければと思います。 チラシの裏面に書いてあるとおり、一時預かりを利用しているとのことですが、こちらに違いが書いてあり、一時保育と変わりはないということであります。保護者の要件はありませんので、誰でも利用可能です。そういったところをもっと大々的に皆さんに分かっていただけるよう周知方法を考えて実施していきたいと思います。貴重なご意見として参考になりありがとうございました。
（会長）	他にご意見などありますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは他に質問がなければ議事は以上となります。 記事を円滑に進めることができ、皆様のご協力ありがとうございました。 （進行役、子ども課長に交代）
6　その他 （子育て課長）	それでは、6 その他でありますが、次回の会議について、案件が生じた時にあらためて通知をしますので、その際はお集まりいただきますようお願いします。 また､せっかくの機会ですので､本来皆様の方からご意見ですとか､日頃の感想をお聞きしたいところではございますが、時間の都合もあ

	りますので、今日は特に高校生委員の方、一般公募の方に出席いただいていますので、ご意見があれば、本日の感想とか日頃思っていることを少しいただければと思います。 よろしければ高校生委員の合津さんよろしいでしょうか。
（高校生委員）	今日の会議で、高校生で子どもを育てたことはないので、質問とか出来なく申し訳ないですが、みんなとても真剣に話し合ったりして、今後もこういった会議を行い、子どもど真ん中ということで、もっと子育てがしやすいこととか、今後生まれて親になる人も子育てがしやすいとか、そういう中野市になってくれたらいいと思います。 日頃の意見では、伊藤さんが言ってくれた悩みのカウンセラーとか、悩んだりした時に誰に相談すればいいか、どこに相談すればいいのかと、よくわからない人も結構いると思うので、その辺を周知し、みんな知れたらいいかと思いました。今日はありがとうございました。
（子育て課長）	ご意見いただいた相談場所についてなど、ご案内もできるようにしていきたいと思います。ありがとうございます。
（公募委員）	私は 1歳と 4歳の子を育てています。2年前に県外から引っ越してきて、中野市の子育てのサポートはどれくらいのものかと考えながら引越してきましたが、色々と施策をしていただいて、今のところは充実して子育てをできているなと思っています。ただ、先ほどたくさん意見をいただいたように、私も当事者の一人としてどうしたらいいかということを一緒に考え、中野市の子育てを一緒に作っていけたらいいなと思うので、日頃子育てをしながらどうしたらいいかということを考えていきたいと思いました。ありがとうございます。
（子育て課長）	ご意見をいただき前に進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
（公募委員）	中野市の子育てや福祉の支援はとても充実していたので、私はここに引越しできて、子育てをして、とても幸せだと個人的には思っております。これからもよろしくお願いいたします。
（子育て課長）	今後ともよろしくお願いいたします。
（公募委員）	私も結婚して関西から 2年前に引っ越してきて、昨年子どもが生まれ中野市の産後ケア事業にはすごく助けられました。私の地元はこの産後ケア制度はありますが、審査があり事前審査に通らないと受けられず、かなりハードルが高いです。中野市は電話 1本、オンライン申請 1本で来てもらいました。退院した次の日に沐浴の仕方など教えて

	もらい、母親学級でもやってはいましたが、実際に赤ちゃんを抱えると全然違うので、コロナの影響で病院もかなり規則が変わり、私が出産した産院は木浴を見せてはくれますが、やらせてはくれなかったので、家で帰ってやるとわからなくなってしまい、連絡をしたら、次の日すぐ助産師さんが来てくださり、他にもおむつの当て方とか、抱っこの仕方とか、パパママ学級にも出たんですけど、生身の赤ちゃんを目の前にするとやはり人形とは違うということで、実際にマンツーマンでいろいろ聞けてとても良かったので、本当に助かりました。 子どもの数は減っても、この産後ケアは予算を削らず、ぜひ存続してほしいなと思っております。
（公募委員）	私は豊田地域で小学校 1 年生と保育園の年中の子育てをしています。正直私、人前に出るのが苦手で、どこかに行くのも結構億劫で、最初上の子が生まれたのはコロナ直前ぐらいで、だいたい 1 歳になるまでは、こまめに子育て支援の方の電話があり、大丈夫ですかって気にかけてもらえたんですけど、1 歳過ぎたあたりからパッたり連絡がなくなり、今スマホとか私が公民館とかに行けばいいんですけど、どうしても豊田地域の中山間地に住んでいると、車に乗せて子どもと一緒に行かなきゃいけない。そうすると赤ちゃんなのでワーワー泣かれると行くのも嫌になったり、情報が入らず、全然意欲がわいてこないという感じもありました。 また豊田地域は正直遊ぶところはそんなになく、近くにタカギセイコーさんがいい施設を作ってくださったんですが、実際に遊びに行ってみると、周りの健康器具とかはあるが、中の施設はお金を払って、サッカーとかはできるかと思いますが、子どもを今 2 人連れて行くにしても、お金を払ってまでも遊ぶとこじゃないかなという風に思ってしまいます。 今こうして、こういう場に出させていただき、いろいろな専門の方のお話を聞け、こういう意見があるんだということと、中野市もいろいろと検討し、児童クラブのこととかも考え作ってくださることは勉強になり、今日参加できてよかったと思います。
（子育て課長）	ありがとうございました。今日いただいた皆様方からのご意見やご質問など、それを踏まえたうえで、計画に基づきながら子育てしやすい 子どもど真ん中 が実現するよう事業を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。 それでは以上を持ちまして、令和 8 年度第 1 回中野市子ども子育て会業が閉会とさせていただきます。大変ありがとうございました。